

河川情報システム

河川は時に急激な状態変化が起こりうるため、的確に状態を把握するしくみが重要です。そこで、さまざまなセンサ・カメラを活用し、気象情報や河川情報のセンシング・モニタリングをおこないます。それらの情報を総合的に処理した上で、情報配信や機器制御をおこない、河川の安全性を的確に維持管理していくことを支援します。

システム概要

● 水位・雨量や河川状況のリアルタイム観測・監視

各地に設置した水位計・雨量計や監視カメラにより、水位・雨量や河川状況をリアルタイムに観測・監視します。

● 情報の一元把握

観測・監視データは、通信網を通じて、サーバに収集されます。水位・雨量の変化を一覧表示するだけでなく、地図表示やグラフ表示を行い、より直感的に状況把握を行うことができます。

● 意思決定支援

収集されたリアルタイム情報をもとに、迅速・適切な河川管理（水門制御など）を支援します。河川情報は、ホームページ、メール等で、関係者への提供します。また、事務所内に設置した河川警報板や警報器で、河川状況をお知らせします。

● 住民への情報提供

各種情報をホームページ、メール、電話、FAXなどを利用して、広く一般に情報提供可能です。

● 各種統計情報や報告書作成支援

収集したデータは、Excel出力可能です。また、個別帳票等への対応も可能です。

システム構成と画面イメージ

